

くまのこだより

令和7（2025）年6月4日（水）発行

赤磐市桜が丘東 6-6-704

さくらが丘保育園



丘の上から 3

毎日、そら組のこどもたちが園歌『丘の上から』を歌っている声が聞こえてきます。この歌はさくらが丘保育園でずっと歌い継がれている愛唱歌です。私が初めてここに来た時、駐車場のところはアスファルトではなく真砂土で、送迎がほぼない午前中は大きいクラスのこどもたちが出て鬼ごっこを楽しんだり、畑でサツマイモを育てたりしていました。

この駐車場から見える風景は、まさしく歌の歌詞に出てくる通り、「山の緑と空の青」でした。駐車場にはフェンスはなく（今では恐ろしくて考えられませんが）どのクラスのこどもたちも駐車場へ出てきたら「おおーい」と何かに向かって叫んでいました。そんなのどかな情景をうたった歌が『丘の上から』です。作ったのは私の大先輩です。

園長

お知らせ

○参加保育募集♪

詳細は後日発行のおたよりをご確認ください。参加をおまちしています。

○歯科検診のご案内

6月26日（木）は歯科検診です。

きれいな歯で見てもらえるように、『すずらんより』をチェックしてみてね。

すずらんだより



虫歯予防デー

6月4日は虫歯予防デーです。

虫歯を予防するためには、やはり歯みがきが一番大切です。こどもが歯みがきをした後は仕上げみがきを行い、虫歯を予防しましょう。

また、ご飯を食べる時はしっかりとかんで食べる習慣を付けましょう。肥満予防となるだけでなく、唾液がたくさん出ることによって口の中を洗い流し、虫歯を防いでくれる役割があります。



梅雨の時期の注意点

■食中毒

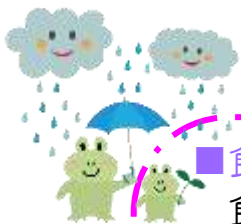
食中毒は6月から9月頃にかけて多く発生します。食事は十分に加熱する、残ったものは粗熱を取った後すぐに冷蔵庫などに保管しましょう。

■事故

雨の日は傘をさすことで視界が悪くなり、事故の危険性が高まります。また、雨で路面も滑りやすく、転びやすくなりますので十分に注意してください。

■かぜ

むし暑さから汗をかくことが増えてますが、朝夕は気温が下がり寒くなります。汗をかいたらすぐに着替え、寒くなったら上着などで体温調節を行うようにしましょう。



ご存じですか？

『はじめの100か月の育ちビジョン』

「こどもまんなか社会」の実現に向け、こどもを取り巻くすべての人たちの考え方や行動の羅針盤となる「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン（はじめの100か月の育ちビジョン）」がこども家庭庁より公表されました。

妊娠期から小学校1年生までがおおむね100か月。この時期が生涯の幸せを育てる時期ということで、社会全体で応援していきましょうという取り組みです。

令和7年度 さくらが丘保育園の取り組み ビジョン2 『安心と挑戦の循環』

こどもは、「安心」（自分や周りの人との信頼関係）を土台として、「豊かな遊びと体験（挑戦）」を通して自分の世界を広げていきます。

こども時代に大切なのは「あそびの時間」。保育の計画を載せるときにずっと前から添えられている一文があります。

こども時代にしかできないこと。それは時間を忘れて遊ぶこと。新しい発見と出会いに胸をわくわくさせること。

その子の人生を豊かにするために、今を大切にし、充実したこどもらしい生活をおくれる「こどもの砦」に保育園をします。

今年度、原点に立ち返って、こどものあそびを考えていきます。

あそびと運動会

そら組



昨年度のそら組と一緒に混ざってリレーをしていたこどもたちはバトンを次へ渡すことが理解できています。実は、この動作、簡単なようで年齢が低い子には難しいことがあります。朝夕の遊びの中でそら組と一緒にその他のクラスの子がリレーの列に並びます。トラックを一周走った後、バトンを渡すことを拒否したり、そのまま走り続けたりする光景をよく見ます。大きいこと一緒に遊ぶ中で、リレーってバトンを次の人に渡すことがルールなんだということにこの後本人が気づいていくんでしょうね。

そら組はチームとして走る順番をどのように決めるのか、走るのが得意な子、苦手な子などチームの仲間と考え運動会当日を迎えました。

日々の遊びの中で小さいクラスの「お手本」になるのがそら組の役割なんですね。

ほし組



運動会当日、ほしぐみの舞台裏。ダンスの出番まえ。カレーマンの変身アイテムを手に楽しそう。職員の緊張をよそにマイペースなところがほしぐみのいいところ。

この後、入場門へ集合するのにどのくらいかかったでしょうか。プログラムが始まってしまえば、することはちゃんとわかっているところも4歳児です。

身体を動かすことが好きなこどもたちは運動会後もそら組が運動会で披露した「ソーラン節が踊りたい」と伝えてきます。曲をかけるとあちらこちらから集まってきて、踊りが始まります。ほし組にとって「憧れ」のそら組。「憧れ」が成長の第一歩になるんでしょうね。

つき組



はじめて出会った頃、消極的な印象のつき組。これから担任との信頼関係を作っていく時期の運動会。こどもとの信頼関係を築きながら運動会に向けての活動を進めていくことを意識してこどもと一緒に遊ぶことで、こどもたちの消極的な姿はだんだんと変わってきました。笑顔が増え、「やりたい」という意欲が伝わってきました。

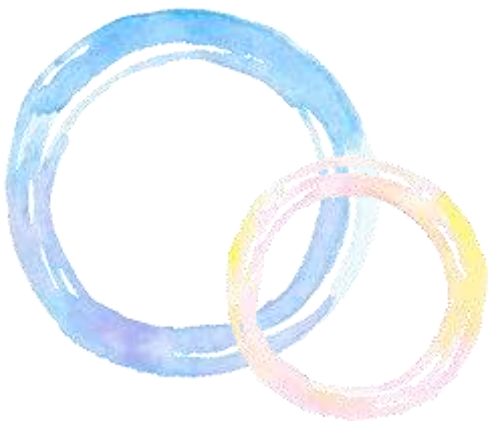
虫をテーマに運動会をしようとグループ名を虫に設定しました。生活の中で「虫ファミリー」として「こども」と「マミー」のイメージでたくさんあそびました。担任(私)と遊ぶのって楽しいと感じることが信頼関係の第一歩。運動会で「虫ファミリー」としてあそびを楽しんだつき組は、いま、虫探しに夢中です。遊びが次に発展しています。

にじ組



運動会の練習をしている大きいクラスの子を見て、ポンポンを持って応援をしました。保育者がポンポンを振って応援している姿を見てこどもたちも真似っこ！

最近では、すべり台を滑るために、ボルダリングを登る友だちの姿を見て「がんばれ」と応援しています。応援することも楽しんでいるようで、みんなハッピーです。



はな・ゆき組



一本橋を準備すると「待ってました」というように園庭で遊ぶこどもたち。渡り始めますが、揺れることでバランスを取ることが難しく、進めず途中で止まってしまいました。しかし、少しするとまた進み始め、ついに渡りきりました。その顔はできたことの達成感で誇らしげでした。運動会の練習を応援しながら「やってみたい」の気持ちが湧いてきたんでしょう。あそび、生活の中で危ないから止めるのではなくどうしたら良いかを大人が考え工夫していろいろな経験ができるように環境を整えていきます。

速報

令和7年度 保幼小合同引き渡し訓練

引き渡し訓練のご参加、ご協力ありがとうございました。

保護者の方のご協力のもと、安全かつ迅速な引き渡しを行うことができました。時々小雨が降り、足元もよくない中、たくさんの方が徒歩で協力をしてくださり交通渋滞もなく引き渡し訓練が行えたことに感謝いたします。

保育園の訓練は、大人のための訓練要素が強いと思っています。園では、本当に災害が起こった時、少しでも間違いや二次災害を回避できることへの備えとして訓練を位置づけています。今回は、トランシーバーで駐車場や誘導係の職員と連絡を取り合って状況の把握を行いながら訓練しました。こどもたちは部屋の中で災害の話を聞いたり、紙芝居をみたりして静かにすごしました。

職員も慣れないところがあり不手際が多々あったかと思いますが、いざという時のためにしっかりと振り返りをします。

